



令和 7 年 7 月 3 日

KOGUCHI LAB 主催
「レゴ®でかんがえる災害につよいまち」を開催します

情報提供

広島大学教育学部 日本語・日本文化教育学プログラムの小口悠紀子研究室では、2018 年 7 月西日本豪雨災害の経験をふまえて、外国人と日本人がともに防災・減災についてコミュニケーションをとり、「多文化共生社会のまちづくり」や「共助」の関係性を構築できる場の創出（教育研究・実践活動）に取り組んでいます。

この度、豪雨災害から 7 年を迎えるにあたり、「レゴ®でかんがえる災害につよいまち」というイベントを実施します。

このイベントでは、レゴ®ブロックを使って災害のリスクについて話し合ったり、理想の避難所を考えたりする中で、このまちで暮らす皆様の多様性について気づき、互いを尊重していくための機会となればと考えております。

日本語が非母語話者の住民ともコミュニケーションがとりやすいよう、イベントは「やさしい日本語」およびレゴ®ブロックという造形物を中心に進行します。日本人も外国人も一緒にこのまちの防災を考えてみませんか。

【開催日時】

7月5日（土）10:00～12:00 （9:40 受付開始）

【場所】

広島大学 東広島キャンパス ミライクリエ 1 階（多目的スペース）

【対象者】

地域住民の皆様（日本人・外国人）

5 歳くらいのお子様から成人の方まで広くご参加いただけるプログラムです。

お子様連れのご家族、日本語非母語話者の方、どなたも大歓迎です。

【参加費】

無料

【参加申込】

申込フォーム <https://x.gd/8BHR5>

【主催・共催】

KOGUCHI LAB

（広島大学教育学部 日本語・日本文化教育学プログラム 小口悠紀子研究室）

ひがしひろしま防災×まちづくりプロジェクト（学生団体）

【後援】

東広島市・広島大学教育学部

【プログラム】

10:00～ レゴ®ブロックを作りながら、地域の人と交流しよう

(例:「自分を表すものをレゴ®で作ろう」や「災害に備えて準備しているものをレゴで作ろう」など、ファシリテーターが出すお題に応じて、レゴ®ブロックで作成することで、自己紹介から災害についてコミュニケーションをする雰囲気へと誘います。)

10:30～ サバイバル博士(小学生)による防災クイズ

(例:これまで本イベントに繰り返し参加してきた地元の小学生有志3人が壇上に立ち、防災クイズを出してくれます。小学生たちはこれまでの防災学習実践を通して学んだ知識を「地域の人に伝えたいことは何か」「外国人の人とも一緒に学ぶにはどのようなクイズにすればいいか」などを考えながらクイズを練って準備をしてきました。)

- ・石原 直さん (いしはら なお : 西条小学校4年生)
- ・関 善導さん (せき ぜんどう : 西条小学校3年生)
- ・小口 萩道さん (こぐち はぎみち : 東西条小学校1年生)

11:00～ レゴ®ブロックを使って理想の避難所を作ろう

(例:お題に合わせてレゴ®ブロックで災害のリスクについて話し合い、理想の避難所を対話しながら作成するコミュニケーション・ワークショップです。)

【お問い合わせ先】

広島大学大学院人間社会科学研究科 日本語教育学 准教授 小口 悠紀子(こぐち ゆきこ) Tel: 090-8234-0048 E-mail: koguchiy@hiroshima-u.ac.jp
--

発信枚数: A4版 4枚(本票含む)

新プログラム
NEW!!

広島大学教育学部日本語教育学 Koguchi Lab
ひがしひろしま防災×まちづくりプロジェクト (HBM)
後援：東広島市、広島大学教育学部

Disaster Resilience Education Communication workshop with LEGO®

LEGO®で かんがえる 災害に つよい まち



2025.7.5 (Sat/土) 10:00-12:00AM

場 所：MIRAI CREA (ミライクリエ 広島大学東広島キャンパス内)

Place: MIRAI CREA (on Hiroshima University Higashihiroshima Campus)

Fee : Free(¥0)参加無料

申し込みは
QRコードかメールから
Sign up via QR code or email.
higashihiroshimahbm@gmail.com



◆参加申し込み者多数の場合は、事前に締め切る場合がございます

This event may be closed in advance in case of oversubscription.

◆本イベントは「やさしい日本語」で行われます

This event will be held in "easy and simple Japanese".

◆Staff members are available for interpretation in English, Vietnamese, and Chinese.

◆会場・ワークショップの内容は 赤ちゃん連れ や 車椅子 でもご参加いただけます

本活動は東広島市「学生チャレンジ活動応援補助金」による補助を受けて実施されます

「もしも」のときのために「今」できることを・・・

災害に強いまちづくりについて 大人も子供も集まってレゴをしながら
「共助」や「多文化共生」の観点から一緒に考えてみませんか？

毎回 好評のLEGO®を使ったワークショップ<新プログラム 第5弾>！！

今回は、イベントに繰り返し参加してくれている<サバイバル博士>たちが
防災や多文化共生について学べるクイズを出してくれる新企画もあります
はじめての方もリピーターさんも歓迎！

まちのみんなの命を守るため、災害リスクや災害に強いまちづくりについて、
コミュニケーションできるコミュニティづくりを目指しています

Join us for a hands-on LEGO® workshop and explore how we can build a disaster-resilient community through “mutual aid” and “multicultural Conviviality”

This workshop uses LEGO® and is facilitated in simple Japanese.

Everyone is welcome—first-timers and return participants alike!

Let's work together to create a community where we can talk about disaster
preparedness and resilience to protect the lives of all.

If you are not confident in your Japanese, our student staff will be happy to assist you.

Please feel free to join us.

こんかい はかせ
今回のサバイバル博士たち



はかせ
なお博士
Dr. Nao



はかせ
せき博士
Dr. Seki



はかせ
はぎ博士
Dr. Hagi

前回のワークショップの様子です



西条小学校・東西条小学校のおともだちが『サバイバルクイズ』を
だしてくれるコーナーもあるよ！いっしょにかんがえよう！

そして きみもサバイバル博士（はかせ）をめざそう！！

主催

広島大学教育学部（日本語教育学）Koguchi Lab
ひがしひろしま防災まちづくりプロジェクト

本イベントは、広島大学で日本語教育を学ぶメンバーを中心に
地域の課題を解決する「多文化共生のまちづくり」
「日本語学習支援」「コミュニティ・ベースド・ラーニング」に
興味があるボランティアスタッフによって運営されます

Developing tasks and workshops for Japanese language
learners and Japanese people to communicate and learn
about disaster prevention together.

本イベントに関するお問い合わせ/Contact

広島大学教育学部人間社会科学研究科 Graduate School of Humanities and
Social Sciences, Faculty of Education, Hiroshima University
小口研究室 (koguchi@hiroshima-u.ac.jp)

申し込み

